

2014年度受託研究概要報告

歴史文化ウォッチング業務

研究メンバー

川北健雄	デザイン学部環境・建築デザイン学科教授
山之内誠	デザイン学部環境・建築デザイン学科准教授
不破正仁	デザイン学部環境・建築デザイン学科助手

委託者

三木市文化遺産活性化実行委員会

研究概要

三木市の中心部には、国史跡、歴史街道、町屋及び神社仏閣等に加え、刃物製作などの伝統産業、特色のある商店、共同洗濯場などのコミュニティ施設、鉄道や橋梁といった構築物等、古い時代から近年に至るまでの歴史が生み出した様々な文化資源が蓄積している。より多くの人々がそれらの歴史文化資源に触れることのできる機会を設けて、それらを新たな視点のもとに活用していくことは、三木市の魅力を高め、一般市民と共に持続的なまちづくりを進めていく上で、たいへん重要であると考えられる。

過去の関連研究ではこのような考え方のもと、「ミキシル」と名付けた三木のことをより多くの人に知ってもらうための親子参加型イベントを、2011年より毎年、2月または3月に実施してきた。そして5回目となる今回(2015年)は、これまでの「ミキシル」イベントの開催で蓄積してきたノウハウを活用しつつ、毎回好評を得ているパスポート形式の冊子を用いたスタンプラリーを中心に据え、これをクイズ形式のイベントと組合せて、まちへの興味をさらに深めてもらえるような工夫をした。また、現地で活動する他団体との連携を深めることも意図して、三木甲冑倶楽部や神戸大学の方々の協力によるイベントも組み入れて実施した。

本研究では、以上のイベントの立案・企画から、実施・運営、成果物の公開、アンケートによる実施後の評価までの一連の作業を行っている。

研究成果

今回の「ミキシル2015」における親子参加型1日イベント「Play Town MIKI! 2015」は2015年2月22日に実施した。

アンケートの集計結果では、イベントに関する全体的な評価は高く、自由記述の感想として書かれた内容を見ても、そのねらいは概ね良く達成できたのではないかとと思われる。また、昨年からはじめた三木の歴史文化に関する情報発信を目的とした「ミキシルCM」に関しても、参加者のみなさんの協力で、今回、新たな3箇所のCM動画の制作を行い、ウェブサイト上のコンテンツとして追加することができた。

また、今回は、イベントの企画段階から三木城下町まちづくり協議会やひょうごヘリテージマネージャーの方々との打合せを行い、それによって、新たに定番スポットに組み入れた建物に関する情報収集と事前見学、受付会場となった紫雲館剣道場の使用とその場での三木甲冑倶楽部の方々との共催による撮影会、定番スポットのひとつである湯の山街道茶屋における当日のカフェ運営などを、関係者の方々のご協力のもとに順調に進めさせていただくことができた。旧玉置家住宅における神戸大学の古文書調査との連携協力も、さらに様々な形で継続展開していく可能性が考えられるであろう。今後とも、これまでに蓄積したノウハウを生かしつつ様々な工夫を加えて、さらに多くの関係者と広く連携しつつ多様な活動を展開していきたい。

